

# 新市長に竹内 正氏

## 滝沢氏に1,929票の差



竹内 正氏

〔略歴〕

歯科医院院長。昭和24年9月4日生まれ。日大卒。白根青年会議所理事長、県歯科医師会理事などを歴任。

白根市大字白根ノ内七軒755-11

得票数

竹内 正 (無所属)	11,714
滝沢 昌三 (無所属)	9,785
已亦 清 (無所属)	256

### 投票率は80・31%

任期満了に伴う白根市長選挙は、一月十日告示され、十七日に投票が行われました。即日開票の結果、日本新党推薦の竹内正氏（四十三歳・無所属）が、現職で三選を目指した滝沢昌三氏（六十五歳・無所属）を破り、初当選しました。

今回の選挙は昭和六十年以来八年ぶりの投票となりました。激しい選挙戦を反映して、投票率は前回の七八・九六%を上回る八〇・三一%。女性の投票率が、男性の投票率をやや上回りました。

竹内正氏、滝沢昌三氏の三人が立候補を届け出、七日間にわたる選挙戦を展開してきました。十七日は、午前七時から午後六時まで市内二十四の投票所で投票が行われ、青年教育センターで即日開票されました。その結果、竹内氏が一万一千七百四十四票、滝沢氏が九千七百八十五票、已亦氏が二百五十六票と、竹内氏が滝沢氏に一千九百二十九票の差をつけて当選。今後四年間の市政を担当することになりました。

なお、竹内氏は一月二十七日に初登庁し、新市長としての執務がスタートしました。

投票状況 ( )内は前回市長選挙結果 (S60.1.20)

	選挙当日の有権者数	投票者数	棄権者数	投票率	有効投票数	無効投票数	投票総数
男	13,050 (11,828)	10,453 <sup>A</sup> (9,462)	2,597 <sup>A</sup> (2,366)	80.10% (80.00)	21,755	151	21,906
女	14,226 (12,920)	11,453 (10,080)	2,773 (2,840)	80.51 (78.02)			
計	27,276 (24,748)	21,906 (19,542)	5,370 (5,206)	80.31 (78.96)			

## 大風と歴史の館

### 建設工事始まる

風のすべてと本市の歴史が一目で分かる「しろね大風と歴史の館」の建設工事がいよいよ始まりました。建設地はカルチャースター入り口道路の南側。敷地面積は七千九百平方メートル。建物はタイル張りの二階建てで、

延べ床面積は二千六百五十九平方メートル。建物中央部の巨大なガラス張りの円筒形ドームがシンボルです。ドームには大風が渦を巻く外からも見えるのが特徴。大風合戦の模様や白根の四季を立体映像で紹介する映像展示室、国内外の風の展示コーナーや、遊びながら風の科学が分かる体験コーナーなどが設けられ、見て、体験できる施設となります。

また歴史・民俗展示室には水との関わりを中心とした市の歴史、産業の変遷などのコーナーを設置。ビデオや模型などで白根の歴史を分かりやすく紹介します。同館は、ふるさと創生事業と



十二月二十五日、工事に先立ち、カルチャーセンターで建設工事安全祈願祭が行われました。

### 防災の誓いも新たな消防出初め式

一月六日、消防出初め式が行われ、消防団員約百人と消防車両や救急車など十数台が本町通りを分列行進しました。式典では六年間無火災の驚巻分団をはじめ、庄瀬、小林、大郷、茨曾根、白井の各分団が無火災分団として表彰されました。

昨年の白根地区消防署管内の火災による損害額は約六千八百万円。初期消火思想の徹底で前年を大きく下回りました。しかし一方、救急車の出動は一千回を越え、前年を百三十件近くも上回りました。これは交通事故の大幅な増加によるものです。今年も自治体消防発足四十五周年。消防団員らは結束を強めて地域の期待にこたえようと、決意を新たにしています。

### 大風と歴史の館建設事業の経緯

- 元年3/15~4/20 ふるさと創生事業1億円の使い道のアイデアを募集。応募81点
- 6/1 アイデア審査委員会発足
- 8/8 同委員会は入賞作品5点を決定
- 2年2/13 市長、総務文教常任委員会で白根ふるさと館の建設構想を表明
- 3年2/8 同館基本計画策定を業者委託
- 2/13 白根ふるさと村建設計画検討委員会発足
- 9/6 同検討委員会が基本計画案の検討結果について市長に報告
- 4年1月 建設地決定
- 5/16 施設名称を「しろね大風と歴史の館」に決定
- 12/3 建設工事指名競争入札
- 12/18 市議会で工事請負契約を可決

して平成元年度に市民から募集したアイデアを基に建設されるもの。自治省のふるさと創生関連施設としての地域づくり推進事業を活用して建設されます。建設工費は十一億九千九百七十一万円、総事業費は十五億八千万円です。事業費の七五%は国の事業債で対応。その償還分の三割から五割程度については普通交付税として交付されます。残りの事業費は平成元年度から四年度までに交付された「ふるさとづくり基金」と県からの借入金で対応。借入金は政府資金金利の三分の一という低利です。

同館の完成は平成六年度前半の予定。風のまち白根の観光拠点として大いに期待されます。

